

クリーンフェスタ 2009

「分別・一人ひとりが責任を！」

10月25日(日) 10:00~15:00

クリーンフェスタは、我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実状に触れながら、生活から排出される「ごみ」について共に考え、理解を深めることにより、資源化の推進とごみの減量を図ることを目的として開催します。正しい分別で、ごみの減量と資源化を推進しましょう。皆様お誘い合わせのうえご来場ください。

パネル展示、浄化槽相談、ふれあい工房の家具バザー、フリーマーケット、生ごみ堆肥を利用した花の寄せ植え体験(有料)、模擬店(マイ箸持参でよいことが・・・)、お楽しみクイズ、アンケートなど。ふれあい工房の家具バザーは消費者の会、花の寄せ植えはエコピュアあびこの皆さんが関わります。

クリーンセンター行バスの発車時刻

天王台駅北口発	9:30	11:00	12:30
湖北駅北口発	10:15	11:45	13:45

平成21年度我孫子市平和事業

長崎を見た中学生が語る

平和の尊さを！

11月1日(日) 13:30~16:30

けやきプラザふれあいホール 入場無料

1部 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参加した中学生の発表会他 チラシ参照

今年の司会は、この事業の2回目に広島へ行った白田さんが担当します。

高齢社会への対応を探る会

10月3日にけやきプラザホールで開いた今年の会は、448名のご参加をいただきました。講師の松原惇子さんは、遠くの親戚より近くの友人達で、見守り、相談、支え合いが必要と、軽快な話術で語られました。

第2部の、高齢者を地域で支えるネットワークの報告3つは、これから活動する人に大変参考になるものでした。高齢社会への対応を探る会では、キーパーソン講座を開くことにしました。ご近所やお友達で見守りのシステムを作りたいですね。安心のために。

松原さんの本を会で買って、4冊を回覧しています。できるだけ早く回してください。

11月定例会は2日

11月2日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8F調理室

定例勉強会は、10月に上原さんの都合がつかずできなかった「地球環境クイズ」です。

12月定例会の予告

12月7日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8F調理室

食肉料理講習会

千葉県食肉事業連合会の主催する料理講習会を開きます。ご参加ください。

12月11日(金) 10:00~13:00

アビスタ調理室 無料 人数に制限あり。

申込みは和田へ。10月末までに。



エコナクッキングオイル問題

先月のお知らせにも書きましたが、花王の食用油「エコナクッキングオイル」に体内で発がん性物質になる恐れがある成分「グリシドール脂肪酸エステル」が含まれていた問題で、花王はトクホ（特定保健用食品）の表示許可を返上すると、8日に発表しました。

対象品は10点、既に販売を自粛しています。

これは、7日に開かれた消費者庁の消費者委員会で取り上げられ、トクホの許可取り消しを求める意見が多くでていました。

では、特定保健用食品の表示はどうやって許可されるのでしょうか。

今までは、(安全とは限らないが)その食品に関してその効用があると、企業側から提出されたデータを、食品安全委員会が書類審査をし、許可が出されてきました。私たちは、トクホの表示を信頼して、「安全で体にもいい商品」と評価していたのではないのでしょうか。そして、この許可権が今回、消費者委員会に移ることになっていました。消費者委員会は非常勤の10名の委員で構成されています。失礼ながら科学の専門家はいらっしやるのかわかりません。今回の事件を機に、トクホについての根本的な見直しが必要ではないでしょうか。

エコナ油を食べていた方は不安になられたことでしょう。今のところ、公式には「普通の量の摂取ではすぐに影響が出るものではない」とされています。欧州で問題が指摘されて、花王が販売自粛をしたという経緯です。

我孫子市消費者の会の会員が花王に電話をした時、花王側の対応はとても悪かったと、定例会で報告されました。古々米の臭素問題、除草剤CNPのダイオキシン問題を経験したとき、役所や企業は、消費者の安全に対する意識が低いことを痛感しましたが、消費者庁ができた今も、変わっていないのが残念です。

消費者委員会がいち早く取り上げてくれてやっと、今回のトクホ取り下げになりました。これからの消費者庁に、多めに働いていただきたいと願いながら、安全性の問題はきちんと対応できるシステムが必要と思います。

庭先セール

10月31日(土) 10:00~14:00 小雨決行
つくし野1-22-28 海津新菜さん宅
つくし野1号公園そば 7184-9828
海津さん宅では7回目の庭先セールです。

一粒の麦 5周年記念講演会

会員の木田典子さんが始められたミニデイスサービス「一粒の麦」が5周年になりました。記念の講演会を開くとのこと。裏面にチラシを印刷します。

総会時の市民活動紹介から

(発表順に報告を続けます)

⑩ 生活協同組合 我孫子生活センター

1981年に「安全なくらしを」をスローガンに「お母さんたちが作った手作り生協」。手賀沼の汚染を心配した石けん運動が基点。現在は4店舗。周辺の市にも会員がいます。設立当初から国産品を優先し、安全にこだわった品揃えをしています。生産地見学・援農、料理講習、みそ造り講習などを通し、市民に「食」の安全を考える場も提供しています。食べ物ばかりでなく、生活必需品も多数提供。消費生活のみでなく、環境・平和など様々な地域活動との連携もしています。これからの課題は「地産地消」の充実のためにも、我孫子の農家に有機農産物を作ってもらうことです。消費者の会会員の早川真さんが役員。

⑪ VAICコミュニティケア研究所

会員の竹中真里子さんが柏のセンターで今年から関わっています。「だれもが自分らしく、安心して暮らせる地域共同社会づくり」を目指し、千葉県や各市の委託事業も行っています。NPO法人で、県内に5つのセンターがあります。

①相談事業 ②生活支援事業 ③権利擁護事業が主な柱ですが、調査研究事業、福祉サービスの評価・調査事業なども行っています。例えば生活支援事業では、ボランティア支援、子育て支援、障害者支援、地域交流支援、生活再生支援など幅広い活動をしています。